

## 教員紹介

応用英語専攻

» 教員データベース



### 須川 いずみ 教授

人間文化研究科長

研究分野 英文学／映画学

研究テーマ アイルランド出身の小説家ジェイムズ・ジョイスを中心とした英文学と映画学

ジェイムズ・ジョイスは20世紀初頭アイルランドから離れてイタリアやスイスに住み着いて映画にふれました。ジョイスと映画の関係を調べる研究をこの数年続けていてアーカイブにある映画を見て研究しています。授業では、院生の興味に合わせて、ジョイスを含めて20世紀の英米小説家の短編等を一緒に読んで、分析方法や資料収集、論文の書き方も指導しています。

(主な著書・論文)

共著『英語で読み解く世界』(昭和堂)／論文「ジェイムズ・ジョイスとホルタ座の映画」(『Joycean Japan』No.22、日本ジェイムズ・ジョイス協会)

### 小山 哲春 教授

研究分野 コミュニケーション学／語用論／  
小学校英語教育

研究テーマ 英語や日本語の日常的なコミュニケーションにおける言語メッセージの産出／解釈プロセス、効果

語用論や社会心理学の理論を基盤に、英語や日本語を用いた日常的なコミュニケーション場面における、(1)言語メッセージの解釈に関わる推論プロセス、(2)言語メッセージが持つ個人的、社会心理的効果、(3)効果的な言語メッセージ産出に関わる能力、等をテーマとした研究を行っています。社会科学的なアプローチを学び、これを適切に応用することで、コミュニケーションの本質的で普遍的なメカニズムの理解に近づけるような研究指導を心がけています。

(主な著書・論文)

共著『認知語用論』(くろしお出版)／論文「メタ認知能力としてのコンピテンス涵養のためのコミュニケーション教育」(『Japanese Journal of Communication Studies, Vol.44, No.1』, 17-26.)

### 田口 茂樹 教授

研究分野 言語学／生成文法／統語論

研究テーマ 生成統語論に基づく日英語比較研究

1950年代にNoam Chomskyによって提唱された生成文法は、理論的な発展・変遷とともに細かな修正・改変を経てきました。本研究室では、主に1990年以降に展開されたミニマリスト・プログラムに基づく格交替の研究を行っています。最近では、文文法のみならず、情報伝達や談話といった要因が、統語的にどのような影響を与え、どのように反映されるのかを追究する、カートグラフィー理論を取り入れて研究しています。両者をバランス良く紹介し、学生のニーズに合った指導ができれば幸いです。

(主な著書・論文)

“Japanese ECM as embedded bare topicalization.” In Proceedings of the north east linguistic society 38, Anisa. Schardl, Martin Walkow & Muhammad Abdurrahman (eds.), 415-426. Amherst: GLSA, University of Massachusetts.

### 東郷 多津 教授

研究分野 教育工学、学習者を主体とする教材開発

研究テーマ 学習者が「何をどのように学ぶのか」に着目した教育技術としての授業研究

学習者が「何を、どんな時に、どのように学ぶか」という視点と、教師の設定する目標や評価を関連づける授業設計について実践的な研究を行っています。授業では、代表的な授業研究を概観後、特に、授業改善法(Reflective Teaching, Exploratory Practice)の整理・考察をもとに、これから求められる教師の役割について議論し、それを可能にする文献収集や分析方法も合わせて指導できるように努めています。

(主な著書・論文)

共著『学習開発シリーズ』「教える」から「学ぶ」への自己変革:学習投資への道』／論文「学習者主体を実現する協調自律的英語ライティングクラスのデザインについて」

### Steven Herder 教授

研究分野 Teaching English as a Foreign Language /  
Study Abroad

研究テーマ English Before, During, and After Study  
Abroad

I am investigating how English teachers collaborate in preparing students before a study abroad program, how university students experience studies overseas, and to what extent students can maximize what they learned abroad to become meaningful global citizens.

(主な著書・論文)

lida, T. & Herder, S. (2019). Second language development before, during, and after study abroad: A longitudinal study at a Japanese women's university. JACET Journal 63, 27-45.

## 大川 淳 准教授

研究分野 アメリカ文学

研究テーマ アメリカン・ルネサンス期の文学批評、主にHerman Melville文学を研究

ポリネシアを漂泊したMelville自身の体験に基づいて書かれた第一作目のTypeeが扱うカニバリズムの主題が、Melvilleの中後期作品群にみられる食の表象へと、どのように接続されているのかについて分析しています。院生への指導に関しては、まずはテキストを正確かつ、能動的に読み取る姿勢を身につけさせ、それを踏まえて文学的な主題やモチーフなどを紐解こうとする方法を教えています。

〈主な著書・論文〉

共著『アメリカン・ロード-光と陰のネットワーク』(英宝社、2013年) / 論文“The Devourer and the Devoured: Representations of Cannibalism in *Moby-Dick*” *SKY-HAWK: The Journal of the Melville Society of Japan*, no. 6, 2018, pp. 51-65. )

## 喜多 容子 准教授

研究分野 英語科教育 / 第二言語習得論

研究テーマ 学習者のモチベーション / 異文化理解 / 英語教育におけるICT活用

第二言語習得の成否に関わる重要な要因である「動機づけ」に注目した、初等・中等・高等教育における外国語の指導過程と指導方法について研究を行っています。院生の皆さんとは、第二言語習得に関わる先行文献の収集・分析の方法とともに、外国語教育に関する授業デザインやカリキュラムデザイン、近年注目を集めるICT教材の開発と効果的な活用について考察を深めるほか、学習者の学習意欲や英語力の向上の背景にある英語圏文化の特質についても分析を進めます。

〈主な著書・論文〉

“The Critical Period Hypothesis and English Language Education: EFL at primary and middle schools in Japan” *Research Bulletin of Naruto University of Education*, 33, 309-316.  
“Using Forms Quizzes to Enhance Students’ Motivation in Language Learning at a Japanese University” *Indonesian Journal of English Language Teaching and Applied Linguistics*, 5(2), 219-235.

## York Weatherford 准教授

研究分野 Bilingualism / Computer Assisted Language Learning / Extensive Reading

研究テーマ The benefits of extensive reading for second-language learning

Extensive reading (ER) is a method of language learning that involves students reading a large amount of easy-to-read and enjoyable books to develop reading speed and fluency. My research focuses on investigating the benefits of ER for second language learning and developing ways to encourage both learners and teachers to take advantage of this valuable activity.

〈主な著書・論文〉

Weatherford, Y., & Campbell, J. (2018). Extensive reading for increased reading speed and comprehension. In D. Khampusaen (Ed.) *The 38th Thailand TESOL International Conference Proceedings 2018*, 48-57.

## 木島 菜菜子 講師

研究分野 英文学

研究テーマ 19世紀のイギリス小説、特にCharles DickensやGeorge Eliotの作品を中心に研究

小説の中で印象に残る場面や風景の描写は、作家のどのような想像力の働きによって生み出され、どのような創作上の意図を反映しているのか、また、作品の主題とどう関わっているのかについて分析しています。院生への指導では、まずはテキストを精読し、先行研究を十分に踏まえた上で、自分なりのアプローチから作品を読み解く方法を教えています。

〈主な著書・論文〉

共著『Dickens and the Anatomy of Evil: Sesquicentennial Essays』(Athena Press, 2020) / 論文「Storm and Sunset: Turnerian Seascapes in *David Copperfield*.」(*The Dickensian* 502.113.2 (2017): 150-159.)

## Lyle De Souza 講師

研究分野 English Literature

研究テーマ Nikkei diaspora literature

My research is on literary fiction by Japanese diaspora authors in English-speaking countries including the United States, Canada, the United Kingdom, and Australia. I am interested in literary representations of Nikkei racialisations, identities, and belongings. My work aims to improve understanding of minorities within contemporary socio-political and cultural contexts, such as globalisation and multiculturalism.

〈主な著書・論文〉

論文「Routed-transnationalism and the representational function of food in Hiromi Goto’s *Chorus of Mushrooms*.」(*Contemporary Japan*, 29(2), 132-147.)

英語英文学科研究室紹介サイトでも教員の研究分野・研究活動を紹介しています。

